

令和元年 7 月 2 日

予知連の「あり方検討作業部会」設置について

火山噴火予知連絡会では、今後の予知連のあり方についての検討を進めるために、作業部会を設置することとしました。

1 設置の目的

近年、大学において研究人材の確保や観測網の整備・更新が困難になるなどの、火山噴火予知連絡会（以下「予知連」という。）を取り巻く情勢の大きな変化は、予知連が火山対策に貢献していく上での課題となっています。現在の予知連が抱える課題を踏まえ、関係する各機関の連携・協力についての具体的な方策など、今後の予知連のあり方についての検討を進めるため、「あり方検討作業部会」を設置することとしました。

2 構成

主 査	森田 裕一	（東京大学 地震研究所 教授）
構成員	井口 正人	（京都大学 防災研究所 教授）
〃	大倉 敬宏	（京都大学 大学院理学研究科 教授）
〃	篠原 宏志	（国立研究開発法人産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門 首席研究員）
〃	清水 洋	（九州大学 大学院理学研究院 教授）
〃	橋本 武志	（北海道大学 大学院理学研究院 教授）
〃	藤田 英輔	（国立研究開発法人防災科学技術研究所 火山防災研究部門 部門長）
〃	三浦 哲	（東北大学 大学院理学研究科 教授）

（五十音順）